



第1回九州商人フォーラムinたまな

九州地区商店街関係者等・玉名市・熊本県等113名の参加
(2016/03/21 司ロイヤルホテルにて開催)

協同組合たまなスタンプ会
【開催報告書】

広報委員会

発行日 2016/04/01

1 総務省大臣官房審議官 猿渡知之氏の基調講演 演題 マイキープラットフォーム構想～地域経済活性化へ～

地域商店街ポイントとマイナンバーカードを活用して、新たな商店街振興策を軸とした地域活性化戦略と題して、講演が開催された。

基本理念として、マイナンバーカードのマイキープラットフォームにより自治体の公共施設、商店街をマイナンバーカード1枚で利用できる。行政窓口と商店街に、タブレットと通信設備等を配置して、クラウド対応のサービスを利用することで、利便性の向上を図るとともに企業の保有する年間約2000億円を利用者の希望により商店街ポイントへ交換できる機能を付帯する。

マイキーとは、マイナンバーカードに組み込まれたICチップのメモリーのうち、民間でも活用可能な空き容量部分などを示す。

利用者は、まず、自分でIDを決めてマイナンバーカードに登録。パソコンなどを使いIDを使ってクレジットカードのポイントや地元商店街で利用できる『自治体ポイント』に変換する。あとは、従来通りの商店街でお買い物したり、ポイントをもらうことができるシステムを構築して商店街活性化につなげることを目的としている。

ただ、利用者は裏面にマイナンバーが記載されているマイナンバーカードを持ち歩く必要があり、抵抗感を払う課題が課題となってくるが、マイナンバーカードのセキュリティは万全であり、利用するのは、マイキー部分となり、購入履歴や個人情報は、残らないシステムとなっている。(一部読売新聞記事引用)

行政ポイントが玉名市でも本年4月1日スタートすることを踏まえての玉名でのフォーラムは、玉名市長はじめ、市職員、県職員の方々のご参加もいただき、情報の共有と今後の展開を見極め、今後の取り組みの参考となり、本件を検討していくこととなるだろう。



総務省大臣官房審議官 猿渡知之 氏

2 クロストーク ～ご当地ポイントと行政ポイントの連携～

柳川市では、『オール柳川』をテーマにポイント会を平成27年4月に260店舗の会を設立した。特色は、行政が加盟店となって、ポイントを発行すること年間予算100万円、28年度は、200万円と増額して、柳川の地域通貨ポイントの増量で地域経済の活性化を目指すことにした。と発表した。(川原氏)

玉名市としては、福祉の充実とサービスを中心として行政ポイントを発行するメニューを平成28年度4月からスタートする。狙いは、市民還元サービスと玉名地域経済の活性化である。と発表した。(清水氏)

玉名市議会・ハローポイント加盟店副理事長の立場から城戸議員は、行政ポイントの財源は玉名市であり、そのポイントが市民に渡り、玉名市内でのお買い物として利用されることは、市民にとってお得感があり喜

ばれる、商店街のポイント加盟店は、そのツールであり、購買意欲の向上で活性化につなげることができる。玉名市内で営業している未加盟店も多く加盟してもらいたいと発表した。(城戸氏)

総括で、猿渡氏からは、柳川・玉名の行政ポイントの取り組みは、地域創生の素晴らしいモデルケースであり、マイキープラットフォーム構想と連携することで、さらに経済効果が見込まれてくるのではないかと発表した。(猿渡氏)

クロストークには、多くの質疑応答で白熱した議論が繰り広げられて、充実した時間となった。



クロストーク風景

九州商人協議会設立

地域コミュニティの担い手として、地域活動の一時よになることやスタンプ・ポイント事業のノウハウの情報交換の場、そして、その情報をもとに経営の革新と商店街活性化へつなげることを目的として、設立しました。

設立発起人として、
・柳川市の柳川おもてなしカード会、
・大分県臼杵どりーむすたんぷ会、
・宮之城ちくりんスタンプ会
・(協)たまなスタンプ会
4団体で設立して、今後九州地区でのスタンプポイント会へ広く呼びかけることとした。

クロストーク登壇者

- ・総務省大臣官房審議官 猿渡 知之 氏
- ・柳川市商工振興課商工係長 川原 洋一 氏
- ・玉名市健康福祉部 暮らしサポート課長 清水 千尋 氏
- ・玉名市議会議員 (協)たまなスタンプ会副理事長 城戸 淳 氏
- ・(協)たまなスタンプ会理事長 初田 武志